

【 さ さ き み つ ぞ う 】

佐々木味津三

1896（明治29）年～

1934（昭和9）年

北設楽郡津具村（現設楽町）生まれ。
生活のため大衆小説を多く手がけたが、病弱のため37歳という若さで死去。
人気を博した『旗本退屈男』『右門捕物帖』など、映画化された作品が多い。



佐々木味津三

設楽町教育委員会蔵



『旗本退屈男』
佐々木味津三／著
実業之友社／発行

生い立ち

1896（明治29）年、北設楽郡津具村に父滋三、母イチの三男として生まれた。本名は、光三^{みつぞう}。家業は、酒の醸造と白木商、その他呉服雑貨や米味噌醤油などを扱う商家であった。

尋常小学校高等科を卒業後、名古屋の愛知県立第一中学校（現旭丘高校）へ入学、成績は組長を務めるほど優秀であった。しかし、18歳の時に父を亡くしたことで精神的に大きなショックを受け、蒲郡で療養生活をするようになった。読書好きで、この頃1日に5冊読まなかった日はないほどであったという。

20歳の時には病気も癒え、上京して明治大学に入学、卒業後雑誌「大観」の記者となった。1918（大正7）年秋に結婚。処女作といわれる『葦毛の馬』は、この年「大観」に掲載された作品である。

この頃は、窮乏生活と闘いながらも仕事に激しい意欲をみせ、ユーモア小説、少女小説、童話など多岐にわたる作品を書いた。

1923（大正12）年、報知新聞に載った『呪わしき生存』が反響を呼び、菊池寛が「現実の生々しい題材を反抗的な、ひねくれたような調子で力強く描き出した力作である。新鮮な力と熱が溢れている。」と評したことから、漸く作家としての存在を認められるに至った。（『佐々木味津三年譜・作品年表』より）

純文学から大衆小説へ

1926（大正15）年、31歳のとき窮乏時代に快く援助してくれていた長兄が亡くなった。そのため、弟妹3人と遺児5人の養教育を託され、同時に兄の抱えていた多大な負債をも引き受けることとなった。

しかし、全財産をなげうってもその負債が果たせぬことを知り、収入の少ない純文学を諦め、大衆小説に転向



設楽町下津具に残る生家



下津具にある味津三の墓

映画「右門捕物帖」のポスター
設楽町教育委員会所蔵



門捕物帖』は、この後 1932（昭和 7）年の 6 月発表の 38 話まで続いた。

1929（昭和 4）年には『旗本退屈男』を発表、これも 1 篇だけのつもりだったのが好評だったため続篇を書き、遂にはシリーズものとなった。

映画で一世を風靡

やがて、『右門捕物帖』は 46 本、『旗本退屈男』は 30 本が映画化されて、当時は誰もが知るところとなった。後者は、額に刻まれた三日月形の刀傷がトレードマークである早乙女主水之介が主人公である。

映画では、右門は嵐寛寿郎、退屈男は市川右太衛門が演じたが、右太衛門が亡くなった 1999（平成 11）年の中日新聞は、「天下御免

する覚悟を決めた。

同年 7 月、初めて中篇の大衆小説『直参八人組』を書いた。世間では彼の転向を嘲笑する人もいたが、決意は変わらなかった。

『右門捕物帖』『旗本退屈男』が大好評

1928（昭和 3）年、最初の『右門捕物帖』を発表した。一篇の読切小説のつもりだったのが思わぬ好評で、引き続き書くことになった。

そのため、この年には『右門捕物帖』だけでも 10 篇、長篇『旗本風流陣』、中篇『謎の人形師』など大衆小説を次々に執筆し、仕事一途の生活となった。『右

旗本退屈男 第五話「三河に現れた退屈男」

（前略）

「いいえ、只の百姓でござります。家代々の水呑み百姓でござりまするが、三河者は権現様の昔から、意地と我慢と気の高いのが自慢の氣風でござります。それゆえ頂きましては—。」

「いや、うれしいぞ、うれしいぞ。近頃ずんとまたうれしい言葉を聞いたものぢやない。三河者は意地と我慢と気の高いが自慢とは、五千石積んでもきかれぬ言葉ぢや、なにをかくそう、身共の先祖も同じこの国育ち、そう聞いては意地になっても取らせいではおかぬ。早う手を出せ。」（後略）
（退屈男が理不尽にも武士に馬を切られてしまった百姓に、代わりの馬をかうお金を渡そうとする場面）

の旗本退屈男市川右太衛門さん（92 歳）死去」と報じたほどのほまり役となった。

1932（昭和 7）年、多忙と不規則な生活で体力は衰えていたが、仕事の合間をぬって久しぶりに帰郷、これが最後の郷里でのひとときとなった。

37 歳という若さで

気力で仕事を続けてきた味津三も、1934（昭和 9）年 2 月、とうとう看護のかいなく 37 歳で永眠した。現在でも、故郷の津具村には生家が残っている。

代表作

著書名	刊行年
葦毛の馬	1918（大正 7）年
呪わしき生存	1921（大正 10）年
地主の長男	1926（大正 15）年
直参八人組	1928（昭和 3）年
右門捕物帖	同上
謎の人形師	1929（昭和 4）年
旗本退屈男	同上
青春群像	1933（昭和 8）年